

◆技術交流事業

ヒトエグサ養殖指導（那覇地区漁協）

水産海洋技術センター 紫波 俊介

1. 目的

那覇地区漁協は平成20年より特定区画漁業権を取得し、ヒトエグサ養殖を実施しているが、漁協より、未だ業となるほどの生産が出来ていない為、組合員へ、養殖指導並びに、養殖・加工（自然乾燥含む）先進地視察の依頼があり、実施した。なお、漁業者間の交流を促進するよう、北中城・本部・恩納視察は久米島漁協組合員も同行するよう手配した。

2. 方法

（1）視察

①奥武島視察

視察日：4月16日

視察者：那覇地区漁協組合員 我那覇幸一、職員：国吉参事、具志氏

②北中城・恩納視察

視察日：12月4日

視察者：我那覇組合員

③北中城・本部・恩納視察

視察日：1月28、29日

視察者：我那覇組合員、久米島漁協組合員5名、職員1名

（2）養殖指導

特区第176号にて、指導を行った。

3. 内容

（1）①奥武島視察

自然乾燥にて販売している知念氏へ乾燥加工の方法を聞き取りした。

窓サッシにステンレス網を付け、乾燥棚とし、屋内で自然乾燥しているとのことであった。乾燥はヒトエグサの藻体がしっかりし、北風が吹く日の多い2月を中心に行い、乾かない際は1時

間程度まで日光に当てる。

②北中城・恩納視察

北中城支所では田仲支所長、恩納村漁協では登川組合員に養殖現場にて、種付け方法、網の洗浄方法について説明を受けた。

③北中城・本部・恩納視察

・北中城支所

棚原アーサ養殖生産部会長に対応頂いた。収穫視察予定であったが、今年はまだ収穫できておらず、かつて無いほど収穫が遅れているとのこと。本張りに移行できていない網も多数見受けられた。箒を使った雑藻除去等の養殖技術や、脱水設備、冷凍庫を視察。

・本部漁協

天久組合員より、水深が深い場所での養殖方法について意見交換。フォークを用いた収穫、加工場にて洗浄、冷凍、乾燥方法を視察。久米島にて収穫したアーササンプルを確認してもらったところ、べとべとしたものは乾燥には向かないとの意見があった。

・恩納村漁協

登川組合員による海苔摘み器での収穫、一次洗浄、脱水視察。脱水前で一網あたり77kgもの収穫があった。

・漁協職員瑞慶山氏より、海苔摘み器の説明を受け、収穫する際は貸与して良いとの申し出を頂いた。

・金城組合員、漁協職員當眞氏により、アーサ加工場にて冷凍パック詰め作業を視察。べとべとしたアーサは天久氏同様、乾燥には向かないということであった。

（2）養殖指導

種付け後漁業者が管理できない状況に陥り、台風により網が脱落した後復旧しなかった為、

種付けは失敗。組合・漁業者と話し合い今期養殖を行うか確認し、養殖体制を整えた後、恩納漁協登川朝夫氏より種網を寄贈頂き、漁業権内6つの地点に網を設置し、養殖を実施した。最も道路より近い地点（A地点）にて収穫を行った結果、脱水前で42kg/網だった。

4. 考察

(1) 生産

漁業者が頻繁に管理することが現状では難し

いため、最も作業が楽なA地点付近で養殖を行う事が望ましいと考える。

種付けに関しては、A地点のみならず、今後は種が溜まりそうなB地点へも種網を設置し、適地選定と技術向上を行うべきと考える。

(2) 加工

今回収穫したアーサをセリに出し、700円/kgの値が付いたことから、加工施設整備等までを漁業者が考えるより、まずは養殖体制を整え、密に管理を行う事に重点を置く事とする。

